

一般質問

鳥飼 年幸 議員
市民グループ未来の会



人工土地総合再生基本設計の策定に向けた今後のスケジュールは

Q 人工土地総合再生基本設計の策定については相当な期間を要することであったが、早くも関係者との意見交換会を重ねている。2月に予定されている第4回意見交換会以降のスケジュールはどうなっているのか。

A 今後のスケジュールについては、意見交換会で出された意見も踏まえながら協議、検討を進め、関係者との合意形成を図る必要がある、相当な期間が必要と思われるので、工事の着手時期など具体的な予定を立てるのは困難な状況です。
(建設経済部長)



空家等実態調査の結果をどのように活用していくのか

Q 今回の空家等実態調査により、利用可能な空き家、危険度の高い空き家等が判断できるが、今後どのように活用していくのか。

A 老朽化が軽微で、住宅としての即時利用が可能な空き家については、市外からの移住希望者等に対して情報提供できるよう、空き家バンクへの登録等を促進していきます。また、高齢者の居場所づくりや子育て支援拠点としての活用策も考えられることから、市内で連携し、利活用を含めた空き家対策を進めていきます。
危険な空き家については、原則として所有者に管理義務があるため、所有者を特定し、適正な管理を依頼していきます。
(市民生活部長)

質問の主な項目

- ・ 公共施設等総合管理計画について

脇 芳美 議員
新緑



老朽化の進んだ城山橋の架け替えを

Q 通学路にも指定されている府中町の城山橋は老朽化が進んでおり、修繕が適さない状態である。架け替え等の計画はあるのか。

A 城山橋は架設後49年が経過しており、香川県より綾川の河川改修事業に伴い城山橋の架け替えについて協議の申し出がありました。本市としても架け替えの際には拡幅が必要だと考えており、今後とも十分な協議のもと事業の進捗を図っていきます。

なお、香川県の河川改修に合わせたの整備となり、来年度以降の橋梁詳細設計に基づいて進めていきますので、具体的な着工時期については現時点では未定です。
(建設経済部長)



高齢者の運転免許証自主返納を促す取り組みは

Q 高齢者による交通事故が全国で急増しているが、本市における運転免許証自主返納者数及び自主返納を促すための取り組みは。

A 11月末現在で726名の方が運転免許証を自主返納しています。

また、自主返納支援事業として、運転免許証を返納していただいた65歳以上の高齢者を対象にタクシーの利用券や循環バスを除く市内路線バスで使用できる回数券の交付、証明書を提示すれば市内路線バスの利用料金が半額になる支援策を講じています。
自主返納を促す取り組みとしては、広報等による当該支援事業の周知を行っていますが、今後も自治会や老人会等の機会を捉えて当該支援事業の利用促進に努めていきます。
(建設経済部長)

質問の主な項目

- ・ 市営住宅府中団地の老朽化対策について
- ・ 消防団における女性分団の活動について
- ・ 婚活支援について